

新規・継続等	新規	分野	道路の落石対策等	事業番号	30	事業名	道路災害防除					
市町村名	南牧村～小海町		ふりがな 箇所名	(国)141号		うみじの 海尻	ひがしながし 東馬流	事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度～	H30 年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	事業延長 L=982m W=6.0(9.0)m 構造物補修工 5箇所、法面対策工 1箇所					H22年度末事業進捗率	0%				
	H23年度以降降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%				
	H23年度実施内容	構造物補修工 1箇所					用地補償費ベース	0%				
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降降						
財源内訳	事業費計(千円)	350,000	0	0	43,000	350,000						
	国庫支出金	175,000	0	0	21,500	175,000						
	その他											
	県債											
	一般財源	175,000	0	0	21,500	175,000						
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部 ランク	政策評価課 評点	部 ランク	政策評価課 評点	
	必要性 (25)	災害発生の恐れ	天候によらず高い	天候によっては高い	すぐには低い	A	10	A	10			
		発生時の通行車両への危険度	重大な落石・変状	中規模な落石・変状	小規模な落石・変状		5		5			
		防災点検上の評価(H8,H17,H19)	要対策箇所	カルテ対応箇所	その他		5		5			
		小計					20		20			
	重要性 (25)	交通量(台/12h)	4,000台以上	500～4,000台	500台未満	A	10	A	10			
		孤立集落等の発生	孤立あり	孤立なし			0		0			
		迂回路の確保	1時間以上又は不能	30分～1時間	30分未満		10		10			
		小計					20		20			
	効率性 (10)	コスト縮減の工夫	比較、検討実施	比較、検討なし		A	5	A	5			
		箇所選定の妥当性	優先度比較している	優先度比較していない			5		5			
		小計					10		10			
	緊急性 (25)	緊急輸送道路	第1次緊急輸送路	第2次緊急輸送路	指定なし	B	5	B	5			
		今の変状程度又は過去の災害履歴	重大な変状・落石	小規模な変状・落石	変状・落石なし		10		10			
		対策工法の環境の配慮	十分に配慮した工法	一部に配慮した工法	配慮なし		3		3			
小計					18		18					
計画熟度 (15)	地域からの要望	住民要望強い	市町村要望強い	特になし	B	3	B	3				
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	周知ない		3		3				
	地域住民の路線認識	危険箇所多い	危険なところもある	認識ない		3		3				
	小計					9		9				
評価の合計								A	77	A	77	
事業周環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、上田市と山梨県を結び、南佐久地域唯一の幹線道路であるが、既存道路施設の老朽化が著しく、各所に劣化による損傷がみられる状況である。H21年10月には道路にコンクリート片が落下する事故も発生しており、重大事故につながれば地域生活や経済活動に多大な影響を及ぼす恐れがある。対策工事を実施することにより、幹線道路としての機能を維持、確保することが不可欠である。										
	地域からの要望経緯	町役場との懇談会に於いて、落石対策の早期完成、及び既存施設の維持修繕が毎年要望されている。										
	事業説明等の経緯	工事箇所毎に着工前に説明する。										
	環境・景観への配慮項目	法面対策について、極力地形の改変を抑える工法を採用する。										
	他事業・プロジェクトとの関連	中部横断自動車道										
	特記事項	平成21年10月に既設構造物の劣化によるコンクリート片落下事故が発生。										
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他							
部意見	南佐久地域唯一の幹線道路で路線の重要性が高く、平成23年度から事業着手し、早急に老朽化した既存施設の対策を行いたい。				政策評価課 意見	必要性、重要性が認められる。						